

もっと知りたい!

第24号

つくば市 ばん

かわら版

つくば市イメージ
キャラクター
フックン船長



つくば市長 五十嵐立青

2023年8月1日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ

廃校や庁舎などの跡地（未利用地）の活用について、もっと知りたい! 問 公有地利活用推進課



ギモン

01

いま、未利用地はどうなっているの?



これまでの利活用の状況はどうなっているの?



2018年の秀峰筑波義務教育学校の開校に伴い廃校となった筑波地区の小中学校や庁舎跡地など、以下の未利用地がさまざまな用途で利活用中、またはその準備を進めているところです。

◆利活用中、準備・整備中の跡地

山口小学校跡地	利活用中	地域交流の場、教職員向けの研修会会場
すがま菅間小学校跡地	利活用中	生活支援ロボットコンテストの実施(グローバルイノベーションチャレンジ)
たみやま田水山小学校跡地	準備中	文化芸術創造拠点、地域交流の場 問 文化芸術課
筑波西中学校跡地	利活用中	広域通信制高校の開校(S高等学校)
筑波東中学校跡地	整備中	筑波山地域ジオパーク中核拠点 問 ジオパーク室 自転車拠点 問 サイクルコミュニティ推進室
谷田部庁舎跡地	利活用中	交番、駐車場、イベント広場



みんなが楽しめるような施設ってあるの?



今大きく進めているのが、筑波東中学校跡地に11月3日(祝)オープン予定の「筑波山ゲートパーク」という施設です。ここは、筑波山地域の自然・文化と大地の関係を紹介する体験型の展示施設「筑波山地域ジオパーク中核拠点」と、自転車愛好家はもちろん、子どもたちなどにも親しんでいただける「自転車拠点」の複合施設となっているんですよ。筑波山地域の自然を感じながら、多様な人たちとの交流の場として、愛される施設になってほしいと願っています。また、田水山小学校跡地では、3月に開催した「つくばアートラボ2022-2023」など、「文化芸術創造拠点」として利活用するために試行事業を行っています。ここから、多くのアーティストたちが世界に羽ばたく未来を想像すると、なんだかワクワクしますよね。他にもまだ新しく生まれ変わる施設があるので、次のページで紹介しますね。



つくば市



裏面では、未利用地の新たな活用について詳しく紹介するよ!

未利用地の新たな活用は？



最近、未利用地の新しい利活用が決定したんだよね！詳しく教えて！



新たに3施設の利活用が決定しました。市だけで利用するのではなく、事業者の皆さんとの連携を進め、利活用を検討していただくことで、多様な用途をもった施設に生まれ変わることができるんですよ。

作岡小学校 跡地

クラフトジンの蒸留所 (エシカル・スピリッツ株式会社)

- 2023年度中にオープン予定
- 日本酒造りの過程で廃棄されてきた酒粕さけかすなどからクラフトジン[※]を製造
- 再生型蒸留所を運営するスタートアップ企業



※小規模の蒸留所で造る個性的なジン

筑波小学校 跡地

インターナショナルスクール (グローバル・インディアン・エデュケーション株式会社)

- 2024年4月開校予定
- 幼児教育、小学校1年生～高校3年生の教育システム
- 初年度は小学校低学年までを対象に児童受け入れを予定



問 産業振興課

荻崎庁舎 跡地

ドラッグストア (ウエルシアホールディングス株式会社)

- 2023年度中にオープン予定
- 店舗内にコミュニティスペースの設置
- 店舗外に緑のあるオープンスペースの設置
- 生鮮食品の取扱い(青果や精肉)



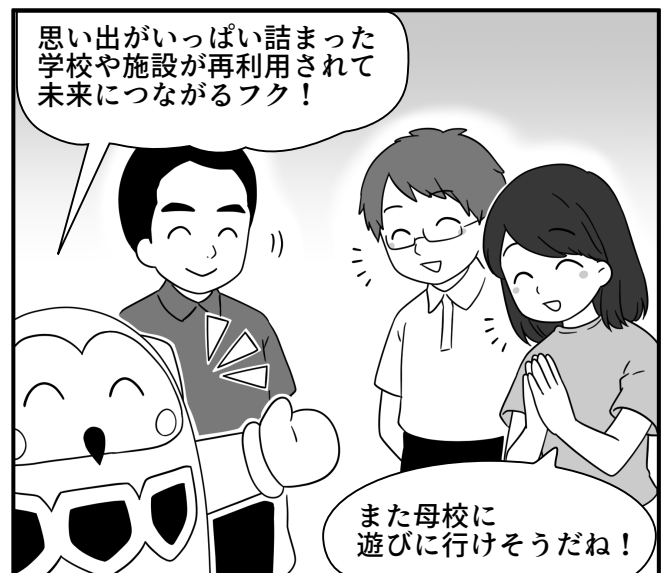
利活用すると、どんな効果があるの？



未利用地の利活用が進むことで、地域の賑わいや経済的な活性化が促進され、雇用の機会が増えることも期待されます。さらに、使わない土地や施設を管理するコストの削減や、持続可能な維持・保存の観点からも重要な取り組みだと考えています。

何よりも、地域の方たちに長年愛され見守られてきた学校などを別の用途に変えて再生させることは、地域の財産を未来につなげることになります。

これからも、市民の皆さんの声を聴きながら、地域の資源を活用した市政を進めていきます！



アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、『もっと知りたい！つくば市かわら版 第24号』をお読みになった感想などをお寄せください(各号ごとのアンケートとなります)。

※個別の質問にお答えすることはできません。



▶ <https://r.qrqrq.com/LA20RYp0>

パソコン スマホ



でつくば市かわら版をいつでもどこでも！



市ホームページ



マチイロ

市公式YouTube

